

ときめきの瞬間

春を届けるコンサート

3月8日(日)

企画から開催までの全てが出演者の“手作り”の「スプリング夢コンサート in TOKI」が文化プラザで行われました。このコンサートは、土岐市および近隣で音楽活動をしている人たちの発表と交流の場として始まったもので、今回で15回目となりました。毎回設定するテーマに沿って開催されるこのコンサートの今回のテーマは「こどもたちに聴かせたいクラシック」。子どもから大人まで楽しめる演奏が出演者らにより披露され、会場は温かな雰囲気になりました。



木のぬくもり感じる学びや

3月19日(木)

濃南小学校の竣工式が行われ、式典に出席した約130人が新たな校舎の完成を祝いました。工事関係者らに感謝状が贈呈されたほか、濃南中学校1・2年生の合唱により、濃南小学校の校歌が披露されました。

自然豊かなこの地域の風景に調和したぬくもりのある木造校舎は、今後子どもたちの成長を温かく見守り、共に新たな歴史を刻んでいきます。





ふるさと駄知を知る

2月27日(金)

駄知小学校6年生81人が、自分たちを育ててくれた町を知り、郷土を愛することを目的とした「町探検」を行いました。駄知町民らでつくるふるさと駄知再生委員会のメンバーがガイド役となり、テーマごとに8つのグループに分かれた子どもたちを案内しました。

陶磁器グループでは、3軒の窯元を訪問。そのうちの1つ、すり鉢館では、全て手作業でくし目を入れる職人の技などに、子どもたちはじっと見入っていました。



桜いっぱい的小学校に

3月6日(金)

下石自然を守る会のメンバーと、卒業を間近に控えた下石小学校6年生の児童らが、同校で記念植樹を行いました。児童らは「桜の小学校」と呼ばれるほどサクラがいっぱいあったかつての下石小を目指して、サクラの幼木を校舎裏に植えました。また、サクラのほか、アゲハチョウなどの幼虫の餌となるミカンやキハダなどの苗木を植えるなど、チョウの舞う環境づくりにも取り組み、母校や地域を愛する心を育みました。



早く出てこい、シイタケくん

3月21日(土)

穴弘法(土岐津町高山)で「親子しいたけ菌打ち体験」が土岐里山の会の協力の下、行われました。約30人の参加者は、菌の打ち方や養生の仕方の説明を受けた後、原木にドリルで穴を空け、シイタケの駒菌を丁寧に打ち込みました。体験に使った原木は自宅に持ち帰り、2年後の収穫を待ちます。

参加者からは「2年間がんばって育てる」「おいしいシイタケを早く食べたい」といった声が聞こえました。



楽しいお話いっぱい聞けたね

3月22日(日)

セラトピア土岐で「読み聞かせフェスティバル」が行われ、親子連れ約10組25人が参加しました。市図書館を中心に活躍する15人の読み聞かせボランティアが、大型絵本や紙芝居などをさまざまな工夫を凝らして読み上げました。また、紙皿や割り箸を使って簡単にできる“皿回し”を体験してみたり、手遊びなどで体を動かしたりと、大人も子どもも一緒になって楽しみました。